

## 公益財団法人日本セーリング連盟 レース・オフィサー規程

本規程は公益財団法人日本セーリング連盟（以下、「連盟」という。）定款に基づき、連盟がレース・オフィサーの認定等について定めるもので、連盟レースマネジメント委員会が管理する。

（目的）

第1条 この規程は、国際セーリング連盟（以下、「WS」という。）が推進するインターナショナル・レース・オフィサー（IRO）制度を踏まえ、日本国内において行われるセーリング競技運営全体のレベル保持と安全を目的とし導入するものである。

2 セーリング競技は本来、WSの定めるセーリング競技規則(RRS)のもとで、参加選手、運営、審判、の合意の下に成立し、全員が安全に楽しむためのものである。しかしながら、運営主体によって運営方法が異なっていたのではセーリング競技の公平さは保てず、またセーリング競技自体の魅力も損なわれ、普及発展にも支障をきたす恐れがある。

3 連盟では、競技の重要度や大会の大きさやレベル、どのような艇種を用いる競技会においても、レース運営そのものは全国的に一定のレベルを保持し、同時に国際的に通じるものであることが必要であると考え。そのため資格を認定することにより、レース・オフィサーの資質を高め、所期の目的を果たし、さらに多くの正しい資質を持つレース・オフィサーを育成することを目指して本制度を策定した。

（レース・オフィサーの役割）

第2条 レース・オフィサーはレースにおける海上の運営のみならず、大会運営上の必要とされる全ての知識と経験を持ち、さらには体力、判断力に優れ、大会組織委員会(大会実行委員会)及びレース委員会のアドバイザーとして大会をサポートする能力を持つ。なお大会委員長やレース委員長を務める場合、または大会主催者やレース委員長等から依頼があった場合には、責任を持って、「レース公示」「帆走指示書」さらに「危機管理マニュアル」等を作成するものとする。

2 レース・オフィサーは大会運営に関するゼネラリストとしての立場から、その能力について以下のような知識と経験を持たなければならない。

(1) WSレースマネジメントマニュアルについて通読し、充分理解していなければならない。

- (2) セーリング競技規則の最新版の知識を理解し、かつ最新版のみならず直前旧版からの変更も理解していなければならない。またWSケースブックを理解していなければならない。加えて、セミナー等に参加しそれら知識を最新のものにしていなければならない。
  - (3) 関連するクラスルールやWS規定も理解しておかなければならない。
  - (4) インショア、オフショアレース、もしくはディンギー、外洋艇等のレースにかかわらず、そのレースの安全に関する十分な知識を持たなければならない。
  - (5) 外洋艇レースに関してはWSスペシャル・レギュレーション、さらに海上衝突予防法に関する知識が必要であり、救助に関し海上保安庁との連絡やその関連知識も持たなくてはならない。外洋艇に関しては艇の安全構造に関する知識、通信と国内規制、国際標準に関する技術的動向、計測とレーティングルール及びその運用に関する知識が必要である。殊にオセアニックレース（800マイル以上のレース）については特にそのことが重要になる。
  - (6) 外洋艇のレース・オフィサーとして認定されるには、後記認定講習会のほか、上記（4）等に関する専門的な講習会を受講しなければならない。
- 3 但し、以上の役割はローカル・レース・オフィサーに対して求めるものではない。ローカル・レース・オフィサーはエリア・レース・オフィサー及びナショナル・レース・オフィサーを補佐する能力を有すれば、その役割を果たすことができる。

(名称)

第3条 連盟公認レース・オフィサー [Japan Sailing Federation Race Officer]

- 2 連盟公認レース・オフィサーの種類は、ローカル・レース・オフィサー、エリア・レース・オフィサー、ナショナル・レース・オフィサーの3種類とする。
  - (1) ローカル・レース・オフィサー [Local Race Officer (LRO)] クラブ等のレースにおいて、レース委員長を務めうる経験等は不足しているが、海上運営及び陸上マネジメントにおいて、スタートの手順あるいは得点計算・成績表作成など一定の分野に精通し、エリア・レース・オフィサーやナショナル・レース・オフィサーの補佐を責任持って務められる者。
  - (2) エリア・レース・オフィサー [Area Race Officer (ARO)] 参加者が地域的に限定された特定の艇種や特定のレベルのレースにおける海上運営に関して責任を持って処理できる能力を有し、また大会のマネジメントに関し実行委員会（あるいは大会委員会）を補佐できる者。
  - (3) ナショナル・レース・オフィサー [National Race Officer (NRO)] 全日本レベルのディンギーレースまたは外洋艇レースにおいて、海上運営はもとより、大会マネジメントまでも責任を持って処理できる者。

(受験資格)

第4条 レース・オフィサー資格を得ようとする者は、以下に掲げられた団体等から推薦された者でなければならない。

(1) ローカル・レース・オフィサー 現にレースの海上運営や陸上のマネジメントに参加した経験を有する者で、一定分野において知識、経験等に優れ、一定のポジションを、責任を持って務めることができるとして、連盟加盟団体または連盟特別加盟団体から、ローカル・レース・オフィサーとして相応しいと推薦された者。

(2) エリア・レース・オフィサー

① 現にレースの海上運営や大会のマネジメントに参加した経験を有する者で、知識、経験、体力及び決断力に優れ、なおかつ公正な判断力を有するなど、連盟加盟団体または連盟特別加盟団体から、エリア・レース・オフィサーとして相応しいと推薦された者。

② 連盟レース委員会から推薦された者。

(3) ナショナル・レース・オフィサー

① 全日本レベルのディンギーレースまたは外洋艇レースにおいて、レース委員長 又は実行委員長（あるいは大会委員長）等を経験し、海上運営及び大会マネジメントに精通した者の中で、知識、経験、体力及び決断力に優れ、適切な指導力を発揮することができ、なおかつ公正な判断力を有する等、ナショナル・レース・オフィサーとして相応しいと、2つ以上の連盟加盟団体及び特別加盟団体から推薦された者。

② 連盟レース委員会から推薦された者。

2 受験の要件は、次表のとおりとする。

	ローカル・レース・オフィサー	エリア・レース・オフィサー	ナショナル・レース・オフィサー
年齢		20歳以上	28歳以上

セーリング経歴	1年以上	6年以上	10年以上
レース運営経歴	最近2年間に各団体主催等のレースにおいて海上運営あるいは陸上のマネジメントに携わっていること。	最近4年間に各団体主催等のレースにおいて海上運営及び大会マネジメントに携わっていること。	10年以上のレース運営経歴を有し、下記のいずれかに該当する者。エリア・レース・オフィサーを経験し、過去4年間に1回以上、レース運営規則第1章第4条または第2章第4条にある大会、もしくは毎年1回以上全日本レベルに次ぐ水域レベルのレースの海上運営、及び大会マネジメントに携わっていること。
会員資格	連盟に登録されているメンバーであること。		
レース公示・帆走指示書の作成	—	当該レースについて、「セーリング競技規則」の最新版に基づき、責任を持って、レース公示及び帆走指示書を作成できること。	
セミナー講師	—	—	レース・オフィサーのための講習会等の講師ができること。

推 薦	第4条1項に基づき、所属する連盟加盟団体及び連盟特別加盟団体等から推薦された者でなければならない。	
講習会	認定のための講習会を受講しなければならない。	認定のための講習会を受講し、その試験に合格しなければならない。

- 3 WSのレース・マネジメント・セミナー（インターナショナル・レース・オフィサー〔IRO〕認定のためのセミナー）の受講者は、第4条2項の要件のうち認定講習会の受講を免除する。ただし、認定試験には合格しなければならない。なお、同レース・マネジメント・セミナーの試験合格者は、認定試験を免除する。（本項目は、IRO認定講習会あるいは試験合格の日から4年間適用される。）

（資格認定手続き）

第5条 連盟が行なうローカル・レース・オフィサー認定のための講習会を受けようとする者、あるいはエリア・レース・オフィサー並びにナショナル・レース・オフィサー認定のための講習会及び試験を受けようとする者は、所属する加盟団体及び特別加盟団体等からの推薦状を添え、所定の用紙に必要事項を記入し、申し込むこと。

- 2 連盟は、書面審査のうえ、適当と認めた者に対し、講習会を行ない認定する。ただし、エリア・レース・オフィサー並びにナショナル・レース・オフィサーについては試験に合格した者に対して認定する。受講料・受験手数料・認定料は別に定める。

（レース・オフィサー名簿への登録）

第6条 第5条により認定された者は、レース・オフィサー名簿に登録され、第5条または第8条により認定され資格を有する者の一覧は、連盟公式ホームページに公示される。

（有効期限）

第7条 セーリング競技規則が改訂され、新規則による更新のための講習会（以下、「更新講習会」という。）が開催されるまで、レース・オフィサーの資格は有効とする。

- 2 有効期間中であっても、連盟はレース・オフィサーとして、著しく適正を欠いたレース運営等を行なった、あるいは誤った助言を与えたなどと認められた場合は、そのレース・オフィサー資格を停止する。

（更新）

第8条 更新のための要件は、次表のとおりとする。

	ローカル・レース・ オフィサー	エリア・レース・ オフィサー	ナショナル・レース・ オフィサー
レース 運営 経歴	過去4年間、レースの海上運営あるいは陸上のマネジメントに携わっていること。	過去4年間に4回以上レースの海上運営及び大会マネジメントに携わっていること。	過去4年間に1回以上、レース運営規則第1章第4条または第2章第4条にある大会、もしくは4年間に3回以上、上記大会に次ぐ水域レベルのレースの海上運営及び大会マネジメントに携わっていること。
会員資格	資格取得後継続して、連盟に登録されている会員であること。		
レース 公 示・帆 走 指示書 の 作成	—	現行の「セーリング競技規則」に基づきレース・オフィサーとして、責任を持って、担当する競技会のレース公示及び帆走指示書を作成できること。	
レース・マ ネジメ ント・ク リニ ック	—	—	過去4年間に1回以上、レース・マネジメント・クリニックを受講していること。
推 薦	—	—	第4条1項に基づき、所属する連盟加盟団体及び連盟特別加盟団体等から推薦された者でなければならない。
講習会	更新のための講習会を受講しなければならない。		

## 2 補足事項

- (1) 更新しようとする者は、更新のための書類手続きを行なうこと。
- (2) 更新しようとする者は、別に定める更新手数料・認定料を納めること。
- (3) 新競技規則の改訂後1年以内に更新講習を受講しなかった場合、資格は失効する。  
ただし、海外勤務等により第8条1項の要件を満たすことが困難な場合には、本人もしくは推薦団体からの申請により、これらによらないことができるものとする。
- (4) 新競技規則の改定前2年以降に、ナショナル・レース・オフィサー資格を取得した場合は、第8条1項の更新のための要件のうち、レース・マネジメント・クリニックの受講要件は免除する。

- (5) 第8条1項の要件が満たされ、かつ連盟がローカル・レース・オフィサー、エリア・レース・オフィサー及びナショナル・レース・オフィサーとして、資格更新が相応しいと認定した者に対し、更新の手続きを行う。
- (6) WSのレース・マネジメント・セミナー（インターナショナル・レース・オフィサー〔IRO〕認定のためのセミナー）の受講者は、第8条のレース・マネジメント・クリニックの受講要件を免除する。
- (7) 連盟レースマネジメント委員会が特に認めた場合は、第8条前項までの規定に関わらず更新要件を満たした者として扱うこととする。

(附則)

第9条 本規程の項目について、見直すことが相当と認められるに至った場合、連盟レースマネジメント委員会は当該条項の見直しを発議することができる。

- 2 本規程は1999年12月18日に制定され、2000年 4月 1日より施行される。
- 3 本規程の改正
  - 1) 連盟理事会の承認があった日（平成14年10月19日）から施行する。
  - 2) 連盟理事会の承認があった日（平成17年11月22日）から施行する。
  - 3) 連盟理事会の承認があった日（平成18年 5月27日）から施行する。
  - 4) 連盟理事会の承認があった日（平成19年 1月27日）から施行する。
  - 5) 連盟理事会の承認があった日（平成21年 5月23日）から施行する。
  - 6) 連盟理事会の承認があった日（平成24年 9月 8日）から施行する。
  - 7) 連盟理事会の承認があった日（平成24年12月 8日）から施行する。
  - 8) 連盟理事会の承認があった日（平成26年 9月 6日）から施行する。
  - 9) 連盟理事会の承認があった日（平成28年 5月28日）から施行する。
  - 10) 連盟理事会の承認があった日（令和 2年 6月27日）から施行する。